

2 目標達成計画

事業所名：グループホーム「氷上山」

作成日：平成 27年 5月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	平成26年度はグループホーム「氷上山」の理念について、平易、具体的な言葉として周知できていなかった。今年度はグループホーム「氷上山」独自の理念を平易、具体的な言葉で設定し、誰もが当事業所の地域性や特性を理解しやすくすることで、事業所の目指す方向性が共有できるようにする	地域性や事業所の特徴を生かした理念を平易、具体的な言葉で構築し事業所全体で共有する。	①理念を理解しやすいよう標語化していく ②事業所全体で構築した理念にする為、ブレインストーミング法等の手法を取り入れ、職員の意見が反映できるようにする。 ③定期的に理念の見直しをしていく	12 か月
2	2	地域交流ホールの活用については会場の提供にとどまり、平成26年度は当事業所で企画して関係機関や地域住民との交流や情報交換が行われなかった。	関係機関や住民と研修や講演会を共催で企画し、当施設を地域に根付かすようにする。	①家庭向けの認知症に対する講演会を企画するなど誰もが参加できるものを開催する。 ②広報等を活用し広く交流ホールの事をアピールし気軽に活用できるようにする。	12 か月
3	33	今後、利用者の重度化や終末期ケアについてグループホーム「氷上山」として取り組まなければならないが、協力病院を含めた医療機関との連携体制が整備されていない。又、医師・看護師等の人材不足の状況の中、充実した看取りケアがなされない	協力病院を含めた医療機関との終末期ケアに向けた協力体制を整備していく。	①職員に対し、医療的知識の向上と終末期ケアについて研修会等に参加させる。 ②協力病院やその他の医療機関と連携し終末期における対応についてあらかじめ相談する。 ③家族に対し、グループホームで出来る事出来ない事を理解していただき家族のケアへの参加を促す。	12 か月
4					か月
5					か月